

生産性向上支援訓練

利用企業様の声



社内各部門の管理者、担当者が実際のPCを用いながら受講することができ、弊社への具体的な導入方法のイメージができました

株式会社 岡田建具製作所 様

所在地：北海道恵庭市黄金南1丁目313番地40

従業員数：28名

事業内容：木製建具・造作家具の製作・施工 他

<教育担当者様>

1. 訓練の利用に至った経緯を教えてください。

弊社は創業50年超の木製建具製造会社です。製造部門（工場）には最先端の機械を導入し、カイゼン活動を実施するなど効率化を進めておりますが、事務部門の効率化が課題となっています。

ひとつの解決方法としてRPAに着目し、役員がオンライン受講を含めてセミナーに参加したところ、その有効性は理解できたものの、具体的な業務への適用をイメージできずに困っておりました。

そこで、以前より生産性向上を目的とした研修を中心にお世話になっているポリテクセンター北海道に相談した結果、実際にPCを使用してRPAの操作を学ぶグループ研修を業務に従事する社員向けに実施していただくこととなりました。

2. 訓練を利用してみていかがでしたか？

当日は、製造・営業・総務各セクションから管理者・担当者をそれぞれ最低1名以上、合計8名に受講させました。役員も1名参加しましたが、それまでに受講した「講義形式」のセミナーとは異なり実際にPCを用いて業務プロセス自動化が体験できたため、弊社への具体的な導入がイメージできたようです。

また、管理者・担当者が受講できたことにより、各部署・各立場での導入効果や課題を共通認識として持つこともできました。受講者アンケートでも満足度は高く、「業務に役立てることができる」ことがその理由だということも大変頼もしく思っています。

3. 今後の抱負を教えてください。

今後は、各部署が自らに適したRPAの活用に取り組み、全社的に業務の効率化を進めていくことを期待しています。また、必要に応じて未受講の社員向けの研修実施もお願いしたいと考えております。

<代表取締役> 小泉 雅博 様

<ご利用コース>

コース名：RPA活用

訓練時間：6時間 受講者数：9名

<訓練内容>

- 1.RPAの導入手順
 - (1) RPAの概要と導入の流れ
 - (2) 導入、RPAツールの起動
- 2.RPAの活用方法
 - (1) サンプルプログラムの利用[演習]
 - (2) データ入力自動化[演習] 他
- 3.RPA開発の役割
 - (1) 自社開発のメリット・デメリット
 - (2) 運用と保守
 - (3) フローの共有[演習]

<受講者様>

1. 現在の業務における課題を教えてください。

弊社では、製造現場（工場）と同様にオフィス部門でもカイゼン活動に取り組んでいますが、何から着手すればよいかを明確にできず、また、活動の成果を実感することも困難でした。

2. 訓練を利用してみていかがでしたか？

今回の研修でRPA活用の対象となる非効率業務の抽出方法や業務効率化のためのRPAの具体的な活用方法を習得でき、さらに、実際にPCを使って教えていただいたので、RPAを活用したカイゼン活動に取り組む際のハードルがかなり低くなりました。

3. 今後の抱負を教えてください。

RPAをツールとして、総務の業務だけではなく製造および営業のバックオフィス業務の効率化をサポートしていこうと思っています。

<総務リーダー> 佐藤 忠宏 様